

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	県営中山間総合整備事業(天龍南信濃地区)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部	課等名	農業課		包含する細々目	1	6	1	7	22	1	19,907	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等								
		事業期間	14	年度～		20	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	南信濃地区	南信濃地区人口	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			2045	2040		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	農業生産基盤及び農村生活基盤を整備する	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
		事業費ベースの整備率(%)=整備済事業費/計画事業費	18目標	25.7	最終目標	20
			18実績		19目標	37.7
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	H9年度に旧南信濃村と天龍村の広域連携型として事業採択され、以降、農業用水路の整備、農道整備、集落道整備、集落防災安全施設整備等を順次実施してきている。現在は遠山川以南を対象地域とした2期事業を実施中。 計画事業費 ・南信濃地区 817,000千円 負担割合 ・国55%、県30%、市15%	・農道整備 中根工区 アンカー 11本 ・防火水槽 十原工区、池口工区 (40m3/1槽 × 2箇所) ・設計委託 農道整備(中根第3、大町工区)	農道整備延長(m) 防火水槽箇所(箇所)	686 2
	18年度の実績	・農道整備 漆平島工区、出山工区 W=3.0m、460m ・集落道整備 大町工区 W=3.0m、600m	農道整備延長(m) 集落道整備延長(m)	460 600
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	5,688	19,907
	事業費計(A)	5,688	19,907
人件費	正規職員所要時間	18年度 160	19年度 160
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	572	572
	トータルコストA+B	6,260	20,479

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額等を高める活動をする	既存農業者の産出額(農業):億円	現状値	119.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	139.1
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>南信濃地区では農道、用水路の農業基盤の未整備により、高齢者を中心とした持続的な営農が困難になったり、集落間道路、防災施設の未整備により住民生活に支障を来す地域が存在した。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>各種事業の導入を通じて、農業生産基盤及び農村生活基盤の整備が順次進んできているものの、いまだ整備を必要とする地域が存在している。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>県営中山間総合整備事業の継続実施は合併協議の合意事項となっている。</p>
--	--	---

【See】18年度の振り返り

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由) 農道及び農業用水路の整備により南信濃地区の農業生産基盤の整備が進む。また、集落道路、防災施設等の整備により生活基盤の整備が促進できる。</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がある (その理由) 計画箇所の施工方法や他事業との連携実施の可能性を検討する余地がある。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由) 南信濃地区のみが事業採択地域である。</p>	<p>有効性評価 廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由) 南信濃地区の農業生産基盤及び農村生活基盤の向上が図られない。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由) 南信濃地区の農業基盤及び農村生活基盤の継続的な整備が必要である。</p>	<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) 関連事業あり (類似事業名、理由) 農業生産基盤施設整備、農村生活基盤整備ともに関連事業はあるが、県営中山間地総合整備事業による実施が経費負担上最も有利である。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由) 公共性が高いインフラ整備であり市が実施する必要がある。</p>	<p>効率性評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 不可能 (その理由) 事業費の削減は工法の工夫等により可能である。人件費については事業実施のための地元調整等に不測の日数を要するケースがあるため単純な削減は困難である。</p>
			<p>公平性評価 受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由) 相当数の受益者または不特定多数が利用するインフラ整備であり受益者負担はない。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 20</p> <p>具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>平成20年度が最終年度となるため、残り2ヶ年で確実な事業完了を図る。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>残事業の中には、他の国県事業で対応した事業や、状況変化にともなって実施効果が低下している事業が含まれているため、最終年度に向けて確実に実施すべき事業箇所を精査する。</p>
---	--

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がある</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>	<p>2- 施設などを新設、改造、廃止するとき</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>			

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	